

21世紀の日本のかたち（132）

戦争と平和、生と死（2） —2022年春から夏へ—



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 顧問>

1. ロシア、ウクライナ侵攻 4ヶ月余

今年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、6月24日には4ヶ月になり、7月に入っても未だ激しい戦争が続いています。この間、ウクライナの市民、国民の死を含む、人的物的、大きな被害が時々刻々とメディアによって伝えられてきます。

前号に続いて、この6月から1ヶ月余の戦況を、新聞（朝日新聞）の大見出しからいくつか拾い出してみました。

6月2日 東部拠点の中心部に侵攻、ロシア軍市内に住民1万人以上

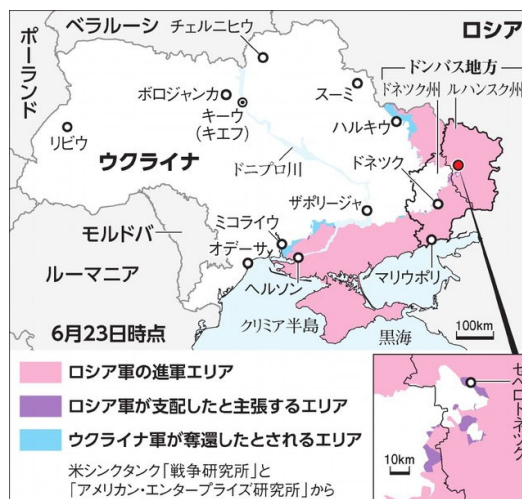
図1 ウクライナの戦況 6月5日時点



資料：朝日新聞、2022.6.7

- 6月7日 プーチン氏武器供給に警告、攻撃対象の拡大言及。ゼレンスキー氏最前線に、支援受け徹底抗戦アピール
- 6月17日 東部人道回廊機能、ロシア制圧地支配進める

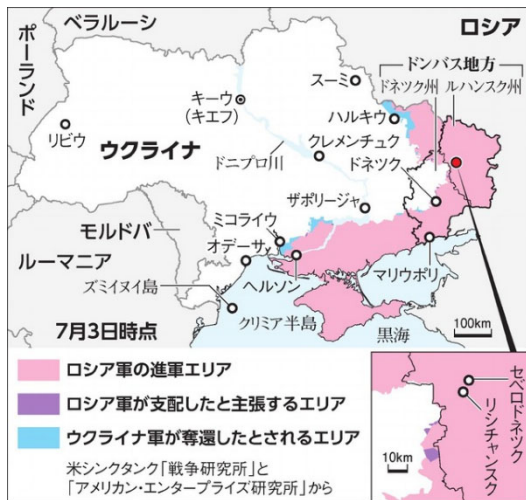
図2 ウクライナの戦況 6月23日時点



資料：朝日新聞、2022.6.25

- 6月24日 ロシアきょう侵攻4ヶ月、バルト海沿岸にも圧力、東部要衝の攻防が今後を左右
- 6月24日 侵攻4ヶ月、ウクライナ軍セベロドネツク撤退か、東部の激戦地米報道、ウクライナEU加盟候補国に、進む「欧州化」実現には時間
- 6月28日 「年内に戦争を終わらせる」ゼレンスキー氏G7で訴え
- 6月29日 また首都が、一時の平穏奪うミサイル「標的にされ続ける」
- 7月1日 要衝の島ウクライナ奪還、穀物輸出の再開焦点

図3 ウクライナの戦況 7月3日時点



資料：朝日新聞、2022.7.5

- 7月4日 ルハンスク州掌握か、ロシア宣言、東部拠点「制圧」
- 7月5日 消耗戦の末、東部1州制圧、ロシア、予想以上に時間・戦力消費、ウクライナは「戦略的撤退」、愛国心と命のはざま、ウクライナ前線武器足りず劣勢、「疲れた」離脱望む兵も
- 7月9日 ロシア、ドネツク州に攻撃、避難のため中部ドニプロへ向かう人々市民、米、ロケット砲4基を追加支援。ミサイルでも攻撃
- 7月14日 ウクライナ、戦争が変えた女性の役割、記者から狙撃兵に。子供死傷1,000人超す。ウクライナ検察当局発表。ウクライナ、ロシア、トルコ代表、ウクライナの食料輸出大筋合意

戦争は何時、どのように終わるのか

この2月始まったロシアのウクライナへの侵攻は「旧ソ連時代、ロシアと一体であったウクライナ、ロシアの歴史的領土であるウクライナが西歐向きに“反ロシア”になることは許されない」というのがプーチン、ロシア

大統領の理屈です。

今回のロシアのウクライナへの侵攻を、情報統制下にあるロシアの国民の7割以上が支持しているというのです。現在の戦況はロシア軍が、ルハンスク、ドネツクの東部2州を押さえている状態です。

ウクライナ軍は欧米の強い支援、武器の供与を受け、反撃を続けていることが日々伝えられています。今度の戦争は各国の物価高など、世界の経済に直接の影響を与えています。今後、この戦争は長期戦になるのか、今年一杯続くのか、どのようなかたちで終わるのか。

ロシア側の兵器を含む物資が尽きてしまう可能性もあるのではないかと。ウクライナの国民の命と居住を破壊するプーチン氏を抑えるロシア国民のウクライナ侵攻、停戦への世論は期待できないものか。

2. 沖縄県、沖縄戦後77年、復帰50年

1972年5月15日、沖縄県が日本に復帰してから50年になります。

日本の国土面積の0.6%の沖縄県に、全国の米軍基地の約7割が集中しているという重い現実があります。そして米軍基地に対して、日本の主権の及ばない日米地位協定が存在しています。「なぜ沖縄だけが」、騒音、環境汚染、時に米軍関係者による事件などが報告されています。このような状況下、沖縄全戦没者追悼式が6月23日、糸満市県平和祈念公園で行われました。この日、私も式典の様子を中継されたテレビで見続けました。

式典では玉城沖縄県知事の平和宣言、岸田首相のあいさつ、そして沖縄市立山内小学校2年の徳元穂菜さん（7歳）の自作の詩の朗読があり、心に残ります。丸木位里、俊夫妻

が1984年に制作した、「沖縄戦の図」を見たときの思いを詩にしたとのこと。

平和の詩「こわいをして、へいわがわかった」

平和の詩「こわいをして、へいわがわかった」(全文)

こわいをして、へいわがわかった
びじゅつかんへお出かけ
おじいちゃんや
おばあちゃんも
いっしょに
みんなでお出かけ
うれしいな

こわくてかなしい絵だった
たくさんの人がしんでいた
小さな赤ちゃんや、おかあさん

風ぐるまや
チョウチョの絵もあったけど
とてもかなしい絵だった

おかあさんが、
七十七年前のおきなわの絵だと言った
ほんとうにあったことなのだ

たくさんの人たちがしんでいて
ガイコツもあった
わたしとおなじ年の子どもが
かなしそうに見ている

こわいよ
かなしいよ
かわいそうだよ

せんそうのはんたいはなに？

へいわ？

へいわってなに？

きゅうにこわくなって
おかあさんにくっついた
あたたかくてほっとした
これがへいわなのかな

おねえちゃんとけんかした
おかあさんは、二人の話を聞いてくれた
そして仲なおり
これがへいわなのかな

せんそうがこわいから
へいわをつかみたい
ずっとポケットにいれてもっておく
ぜったいおとさないように
なくさないように
わすれないように
こわいをして、へいわがわかった

写真1 「平和の詩」を朗読する徳元穂菜さん



資料：朝日新聞、2022.6.24

玉城・沖縄知事の平和宣言(要旨)

今年、沖縄は本土復帰50年の節目の年です。
復帰の前年、当時の琉球政府が日本政府に提出した建議書においては、「基地のない平和の島」としての復帰を強く望むことが明確

に記されております。

しかしながら、沖縄に米軍専用施設面積の約70.3%が集中し、基地から派生する事件・事故、航空機騒音、環境汚染など、過重な負担を強いられ続けています。

基地の更なる整理・縮小や、日米地位協定の抜本的な見直し、普天間飛行場の速やかな運用停止を含む一日も早い危険性の除去、辺野古新基地建設の断念などを強く求めてまいります。

ウクライナではロシアの侵略により、無辜(むこ)の市民の命が奪われ続けています。77年前の沖縄における地上戦の記憶を呼び起こすもので、一日も早い平和の回復を強く望みます。

くぬ命宝(ぬちだから) やる格言(いくとうば) や、何時(いつい) ぬ時代(でー) までいん継(つい) なじいちゃびらな。

It is life, itself, that matters more than any treasure

◆方言及び英語の意訳

命こそ宝をいつの時代でも語り継ぐこと。

朝日新聞 2022.6.24

写真2 沖縄全戦没者追悼式で平和宣言する 沖縄県の玉城デニー知事



資料：朝日新聞、2022.6.24

玉城沖縄県知事は、77年前の沖縄戦に重ねて、市民の命を奪うロシアのウクライナ侵攻の非に言及していました。

岸田首相のあいさつ(要旨)

本年5月、沖縄の本土復帰から50年を迎えました。県民のたゆまぬ努力もあり、この間、沖縄は様々な困難を乗り越えながら、着実に発展してきました。しかしながら、1人当たり県民所得の向上、子供の貧困の解消などの課題は、今なお残されております。

アジアの玄関口に位置する地理的特性。亜熱帯の美しい自然。「万国津梁(ばんこくしんりょう)」の地として諸外国との交流を重ねる中で育まれてきた国際色豊かな文化や伝統。いずれも沖縄ならではの魅力・優位性です。その潜在力を最大限に引き出し、「強い沖縄経済」が実現されるよう、沖縄が21世紀の「万国津梁」の地となるよう、改正沖縄振興特別措置法を最大限に活用しながら、沖縄振興に取り組んでまいります。

沖縄の皆様には、今もなお、米軍基地の集中による大きな負担を担っていただいています。政府として重く受け止め、引き続き、基地負担の軽減に全力で取り組んでまいります。在日米軍施設・区域の整理・統合・縮小を進めており、基地負担軽減の目に見える成果を一つ一つ着実に積み上げてまいります。

朝日新聞 2022.6.24

岸田首相は、玉城沖縄県知事の求める辺野古移設の「断念」には触れられませんでした。

沖縄戦の犠牲者、現在、今年、55人を含めて241,686人、出身地沖縄や日本全国、米国、英国、朝鮮半島などに及び、まだ戦地に眠る方々も多いと報告されています。

第6次沖縄振興計画（5月15日正式決定）

冒頭に「沖縄を平和の島とする」ことが沖縄戦で犠牲になった人々の「霊を慰める道」であり、それが「国民の誓いでなければならぬ」と表明した政府声明（50年前の政府声明）が引用されています。

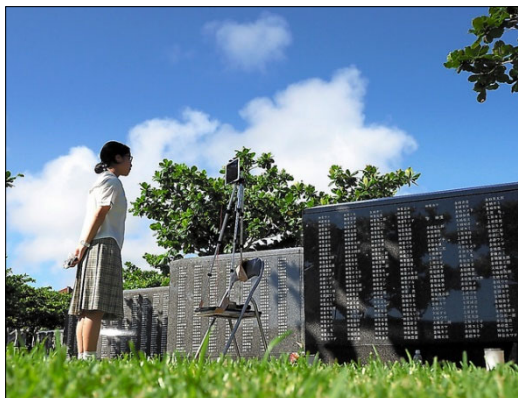
5つの将来像

- 1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
- 2) 心豊かで安全・安心に暮らせる島
- 3) 希望と活力にあふれる豊かな島
- 4) 世界に開かれた交流と共生の島
- 5) 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

振興計画の対象期間は2022年度から10年間。SDGs（持続可能な開発目標）の理念を取り入れ、基本指針に「安全・安心で幸福が実現できる島」の形成を掲げた。

計画最終年の31年度に、1人当たり県民所得を全国最下位脱出を果たす水準の291万円（20年度比77万円増）にする展望値を設定するなど、「強くしなやかな自立型経済」の構築を目標とする。

写真3 「平和の礎」に刻まれた約24万人の犠牲者名を読み上げる取り組み



資料：朝日新聞、2022.6.23

戦後77年、日本復帰50年、沖縄県は2022年、21世紀の日本のかたちには独特な位置を持っていることに改めて注目されます。

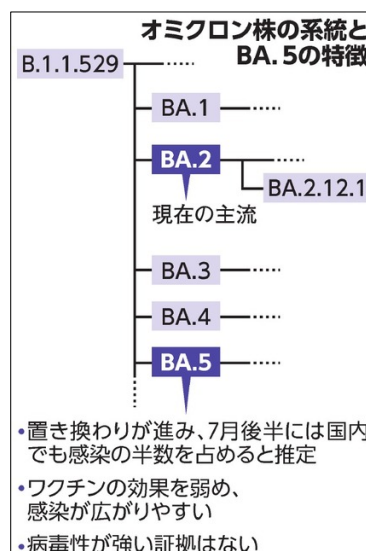
玉城知事は強くしなやかな自立型経済の構築を目標とする、沖縄の潜在力が伸びていくことによって、アジア全体の平和と日本全体の経済発展に貢献したい。（琉球新報 5月16日配信）

3. コロナ禍

日本において、2020年1月に国内初の新型コロナウイルス感染が確認されてから、この7月で2年半になります。

この間、第1波から2、3、4、5波、そして第6波の大波がようやく収まるやに見えたのが、7月に入って上向きのベクトルを示しています。西日本では1日あたりの感染者数が過去最多となっている自治体が相次ぎ、東京などでも感染が広がり、第7波の始まりが取り沙汰されています。7月14日、日本のコロナ感染者数は1,000万人を超えました。

図5 オミクロン株の系統とBA.5の特徴



資料：朝日新聞、2022.7.2

これからのコロナ感染の主流はオミクロン株BA.5とみられています。2年半に及ぶ日本のコロナ禍に対応すべく、政府において内閣官房や厚生労働省の縦割り行政を是正して、感染症危機管理庁の設置などの議論が始まっています。今後の感染症対策の大枠も発表されています。

政府の新たな感染症対策（要旨）（読売新聞 6月18日）

- 1) 次の感染症危機に対応する政府の司令塔機能の強化：平時・有事
- 2) 感染初期から速やかに立ち上がり機能する保健医療体制の構築
 - ・医療提供体制の強化
 - ・保健所の体制とその業務に関する都道府県の権限・関与の強化
 - ・検査体制の強化

- ・感染症データ収集と情報基盤の整備・医療DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・ワクチンの開発・効果的な接種体制の確保
- ・医療用物資の確保の強化
- ・水際対策の実効性の向上

3) 初期対応と新型インフルエンザ対策特別措置法の効果的な実施策

- ・要請等の措置の実効性の向上
- ・その他の対応

今年も7月の時点において、職場でも居住地でもいまだ「マスク姿」が多く、油断がならない状態が続いています。私などのところへも第4回目のワクチン注射の通知が来きます。今年一杯はコロナ禍のこの状況が続くことになるのか。

表1 世界の新型コロナ感染者

	感染者	死者
■世界の新型コロナ感染者（7月14日午後5時現在）		
米国	8922万1950	102万3619
インド	4368万9989	52万5557
ブラジル	3307万6779	67万4482
フランス	3288万1645	15万1454
ドイツ	2946万0249	14万2284
英国	2328万0870	18万2262
イタリア	1977万8911	16万9496
韓国	1864万1278	2万4696
ロシア	1820万2785	37万3983
トルコ	1529万7539	9万9088
スペイン	1303万2841	10万8974
インドネシア	612万0169	15万6818
フィリピン	372万3014	6万0640
中国	217万4317	1万4651
シンガポール	155万7648	1440
日本	990万1424	3万1497
世界計	5億5954万0020 (+171万8552)	636万3304 (+7305)

感染者の多い11カ国と、日本と往來の多い国。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比。日本の数字は集計方法が異なるため、1面・社会面と一致しない

資料：朝日新聞、2022.7.15

表2 新型コロナウイルス感染者

■新型コロナウイルス感染者（7月14日午後8時）			
国内の確認1001万5255人(+9万7788)死者3万1534人(+33)			
感染者	死者	感染者	死者
北海道 393458 (+1713)	2105	京都 226571 (+2364)	757
青森 69890 (+912)	117	大阪 1084162 (+9957)	5230
岩手 41339 (+556)	97	兵庫 473315 (+4638)	2258
宮城 100007 (+808)	202	奈良 100920 (+1121)	394
秋田 33789 (+310)	72	和歌山 49700 (+575)	118
山形 32574 (+319)	98	鳥取 19915 (+407)	20
福島 69970 (+508)	228	島根 29093 (+1006)	26
茨城 171260 (+942)	453	岡山 109851 (+786)	252
栃木 98551 (+752)	281	広島 178004 (+1271)	499
群馬 104038 (+942)	323	山口 53582 (+672)	181
千葉 603058 (+5751)	1667	徳島 26518 (+317)	86
東京 1713982(+16662)	4592	香川 54089 (+580)	132
神奈川 828946 (+6155)	2251	愛媛 52158 (+856)	143
新潟 79965 (+783)	91	高知 33473 (+328)	116
山梨 43183 (+423)	97	福岡 487375 (+5718)	1292
石川 64319 (+647)	199	佐賀 66185 (+968)	113
福井 42341 (+443)	46	熊本 73373 (+897)	129
山梨 37189 (+396)	68	大分 132178 (+2637)	321
長野 82480 (+699)	206	宮崎 66416 (+1103)	171
岐阜 115974 (+1040)	351	鹿児島 66071 (+966)	150
静岡 193679 (+2250)	425	沖縄 105662 (+1516)	215
愛知 612518 (+6132)	2107	その他(空港検疫など)	
三重 94964 (+1224)	317	2万281人(+20)	死者8人
滋賀 101752 (+1056)	222		

入院・療養45万4069人(+6万9866)うち重症100人(+10) (14日午前0時)

総数 1001万5978人(+9万7788) 死者 3万1547人(+33)

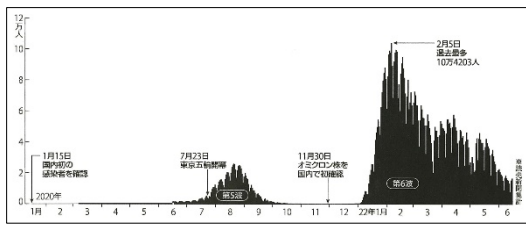
感染者数は「疑似症患者(みなし陽性者)」を含む。カッコ内は前日との比較。都道府県と厚生省の発表は一部重複。再陽性は延べ人数で計上。総数はダイヤモンド・プリンセス乗船者を含む

■ワクチン接種 (14日、政府の発表から)

1回目	82%	3回目	4回目
2回目	80.9%	総接種数 (接種率)	7884万5744 (62.3%)
			341万9689

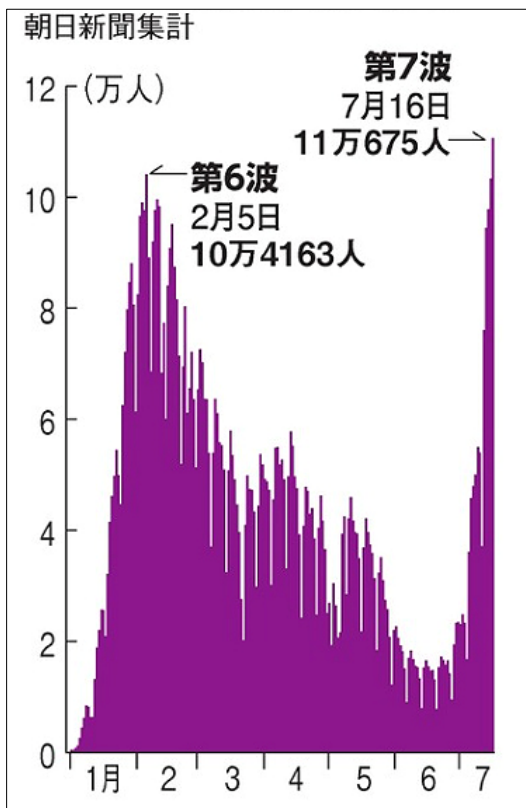
資料：朝日新聞、2022.7.15

図6 新型コロナウイルス感染の推移



読売新聞、2022.6.18

図7 国内の新規感染者数の推移



資料：朝日新聞、2022.7.17

4. 「はやぶさ2」太陽系生命の源に迫る

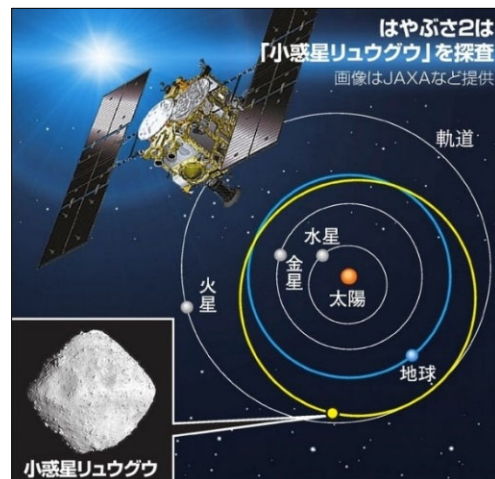
2014年、種子島宇宙センターから打ち上げられたJAXA（宇宙航空研究開発機構）の探査機「はやぶさ2」（2020年12月豪州の砂漠に帰還）が、小惑星「リュウグウ」から持ち帰った太陽系が誕生した46億年前の砂（5.4g）にアミノ酸23種類が含まれていたと、2022年6月10日発表がありました。

「太陽系解明の第一歩」「アミノ酸の型、

命の源解く鍵」とリュウグウの砂の解明に期待が高まっています。

宇宙空間、太陽系の惑星、地球に生命体、人類がどのようにして生まれたかは依然として大きな謎に満ちていますが。

図8 はやぶさ2は「小惑星リュウグウ」を探查



資料：朝日新聞、2022.6.10

5. 知床の悲劇から2ヶ月

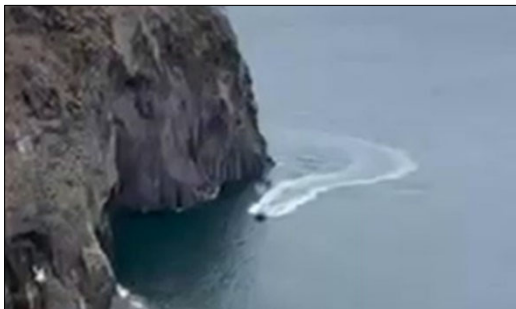
4月23日、乗客（24人）、乗務員（2人）を乗せた知床遊覧船「KAZU I」が沈没し、死者14人不明者12人が報告されてから6月23日で2ヶ月になります。

5月26日、KAZU I は120mの海底から引き上げられましたが、乗員・乗客はおりませんでした。

不明者については2人を発見したとのロシア側の報告がありますが。

当日、KAZU I の船長に対して、知床の海を知る斜里町の別の観光会社に勤める男性が、「出したらダメ」と再三迫ったにも関わらずの出航であった（朝日新聞 7月8日）と伝えられており、無謀な出航はかえすがえす残念です。

写真4 出航直後の「KAZU I (カズワン)」 とみられる船



資料：朝日新聞、2022.7.8

知床半島は2005年7月に世界自然遺産に登録されており、北海道有数の観光地なのです。

6. 安倍晋三元首相の死

こんなことが今の日本で起こるのか。

安倍元首相が参議院選挙戦の終盤、7月8日午前11時32分頃、奈良、近鉄大和西大寺駅前で、一人の男に背後から銃で撃たれて倒れ、その日のうちに死亡したというニュースが流れました。

安倍元首相が山上某に撃たれて倒れる場面はリアルにテレビに放送され、私などにも白昼の悪夢を見ているようでした。

容疑者は山上徹也（41歳）元海上自衛官（2002～05年）で、凶器は手製の銃とのこと。動機は宗教団体に恨みがあり、安倍元首相に繋がりがあると標的にしたと動機を語っている様子です。

安倍元首相は、2006年自民党総裁、第90代首相、2012年2度目の自民党総裁、第96代首相と歴代最長の8年8ヶ月にわたり日本の政治の中枢にあり、「21世紀の日本のかたち」づくりに当たりました。

安倍元首相の経済政策、三本の矢（①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投

資を喚起する成長戦略）、「地球儀を俯瞰する外交」を展開し、精力的に世界の首脳たちと会談を続けました。

今回の安倍元首相の死を悼む各国の首脳、多くの国、地域、機関から、弔意のメッセージが送られてきていることが報じられています。

過去にも政治家が襲撃される事件がありました。私の記憶に残っているものでも、1960年の浅沼稻次郎・社会党委員長が演説中、右翼の少年に刺され死亡した事件、2007年、伊藤一長・長崎市長が暴力団幹部に銃撃されて死亡した事件などがあります。「21世紀の日本のかたち」づくりに政治の中枢において関わった安倍元首相の無念が思われます。

今度の安倍晋三元首相に対する犯人の手造り銃による狙撃事件は、何か無機質化する社会での出来事にも思えます。昨今、乗り物、電車の中では周囲に構わず皆「ケイタイ」を見続けている状況が重なります。

7. 参議院選挙 — 7月10日

安倍晋三元首相の死（7月8日）の衝撃の走る中、7月10日、3年に一度の参議院議員選挙が行われました。

現在の日本が直面している課題、外交、安全保障—ウクライナに対するロシアの侵攻、コロナ禍、厳しい経済、財政の課題などに対して、政治、日本の政党はどのように向き合うか。結果は自由民主党が圧勝しました。単独で過半数、32の1人区では自民党が28勝4敗。現与党、自民、公明両党で、改選議席の過半数になる結果でした。

立憲民主党は23名から17名に議席を減らしましたが、かろうじて野党第2党に踏みとど

まりました。維新は15名から21名と比例区で野党第1党と票を伸ばしました。共産党は13名から11名と2名減。社民党はかろうじて1議席を確保しました。

今度の参議院選挙では憲法改正が一つの焦点になりましたが、改憲4党、自民、公明、維新の会、国民民主で発議に必要な2/3の議席を確保しました。

今回の参議院選挙は立憲民主党の低迷、野党の与党化、自由民主党一強の構造を示しました。

表3 党派別の当選者数

党派	当選者	改選議席			選挙区			女性	新勢力	勢改選力前
		改選議席	選挙区	比例区	現	前	元			
自民	63	55	45	18	41	0	2	20	13	119
立憲	17	23	10	7	10	0	0	7	9	39
公明	13	14	7	6	11	0	0	2	2	27
維新	12	6	4	8	5	1	0	6	3	21
共産	4	6	1	3	3	1	0	0	2	11
国民	5	7	2	3	4	0	0	1	2	10
れいわ	3	0	1	2	0	1	0	2	0	5
N党	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2
社民	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1
諸派	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
無所属	5	8	5	—	3	0	0	2	3	12
計	125	121	75	50	78	3	2	42	35	248

非改選を含め定数248。諸派の当選者は参政党

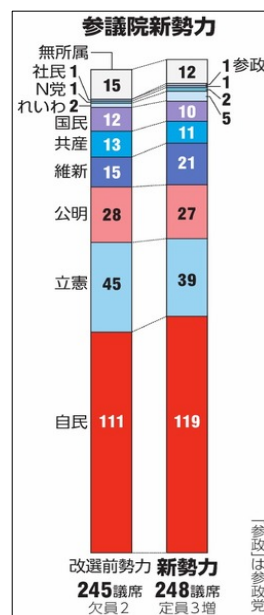
資料：朝日新聞、2022.7.11

現在の日本の政治はダイナミズムに欠け、かつての二大政党による競い合いの構図ではなく、政治選択の幅が小さくなっているように見えます。

しかし、日本の現在を含む近未来は、グローバル化の中、人口減少、防疫、防災、防衛など、大きな問題に直面しております。日本のこの状況に対して自民党の政策にいつでも対案を示すことのできるしっかりした野党の存在が必要だと、感想を持ちます。

安倍元首相の死に重ねて、日本の民主主義の有り様が改めて問われているのだと思います。

図9 参議院新勢力



資料：朝日新聞、2022.7.12

8. 21世紀の日本のかたち — 一般財団法人日本開発構想研究所50周年記念によせて

1) 1972年前後の日本の姿

今年2022年（令和4年）7月、1972年（昭和47年）設立の一般財団法人日本開発構想研究所は創立50周年を迎えました。

この年、新型コロナウイルス感染が世界を覆い、感染者5億人超、死者600万人超、加えてロシアが理不尽にウクライナに侵攻し、連日激しい戦闘が続いている最中の50周年となりました。

50年前の日本の状況も、高度経済成長に向かいつつ、地価高騰、環境破壊、公害問題などに直面しておりました。

1970年頃は、新全総（新全国総合開発計画1969～）の時代でした。1972年、田中角栄の日本列島改造論が重なります。

また、同年、沖縄の日本復帰がありました。

2) 私と日本開発構想研究所

私が日本開発構想研究所に知遇を得たのは

43年前、研究所が受託した1979年、「木更津新総合計画策定調査（主査 横山光雄）」に参加したことに始まります。この調査で、ヘリコプターに乗って東京湾上を飛んだ事を思い出します。

歴代日本開発構想研究所理事長

初代：向坂正男氏（1972～）、第2代：本城和彦氏（1988～）、第3代：水田喜一郎氏（1993～）、第4代：新谷洋二氏（1999～）、第5代：戸沼幸市（2005～21）、第6代：阿部和彦氏（2021～）

戸沼幸市理事長（代表理事）時代（2005.8～2021.7）に手がけたこと

2005年8月、私が理事長を引き受けてから16年間、理事長職の他、研究所の事業の中で、特に私が関わった事案がいくつかあります。

下河辺アーカイブス開設、モンゴルなど海外調査、新宿研究会の立ち上げ、「新宿学」出版、UEDレポート復活、理事長（代表理事）の部屋、「21世紀の日本のかたち」執筆などです。

3) 21世紀の日本のかたちづくりー日本開発構想研究所への期待

2022年夏、日本が当面している事態は、防災、防疫、そして防衛と、これまでの想像を越えております。

防災については首都直下型地震と東南海トラフ地震、防疫については新型コロナウイルス感染の拡大、防衛については現在進行形のロシアによるウクライナ侵攻などに直面しています。

日本を取り囲む核を持つロシア、中国、そして北朝鮮の動向が目を見えない状況です。

世界で唯一の原爆の被害を受けた日本の平

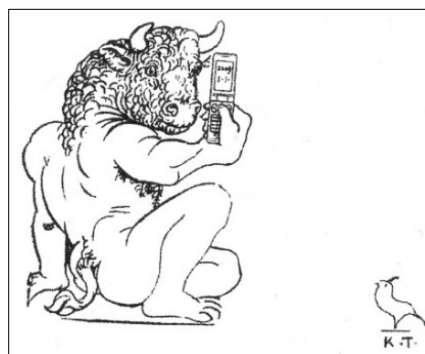
和憲法は守られるのか。

日本の人口減少も始まっています。

改めて日本の地政学的位置と形、日本列島ー北海道、本州、四国、九州、6000余の島々を見つめつつ、21世紀の日本をどのように画くことができるのか。

21世紀のグローバル時代、グローバルとローカルの交差するグローカルの視点から、今後10年、20年、50年の「日本のかたち」を考え続けたいものです。

図10 ケイタイを持ったミノタウルス



資料：戸沼幸市作図

図11 地球はもえつきるか、有限な地球



資料：戸沼幸市作図

2022.07.22